

地域住民の声



秘境体験・アウトドア道場 主宰
移住アドバイザー
水野 英夫 さん

根知へ移住する前は京都に住んでいましたが、自然が好きで山や海に近いところを探し、根知地区へ移住しました。

その時に仲介してくれた方が、地域の人たちとの間もつないでくれたので、今度は、自分も移住者と地域の人たちの橋渡し役になればと「移住アドバイザー」になりました。

移り住む人と地域の人たちが、それぞれ相手の立場になって考え、お互い少しの思いやりで地域に溶け込めるような活動を心がけています。



根知地区公民館
佐々木美香 さん(左)
加藤 園子 さん(右)

根知で生まれ暮らしている私にとって手づくり作家さんが根知に移住したこと、移住の決め手が「あたたかく親切」ということに驚きました。私は隣の地区から嫁ぎましたが家になじむのに10年かかった気がします。でも、私も作家さんも決めたきっかけは、ほぼ同じなのかな(佐々木)。

ここ十数年、人が出て行く話ばかりだったので、若い人たちが移住してくれることをとても嬉しく、これからいろいろな交流ができることを楽しみにしています。ぜひ、一緒に地域を盛り上げていきましょう(加藤)。



和泉区住民
北村富士雄 さん

梅津夫妻のような若い方が移住され、とてもありがたいです。仕事が忙しいにも関わらず、積極的に地区行事に参加され、好印象ですね。また、自宅での障子張り体験、漆喰塗体験など非日常的なイベントも実施し、地域住民との交流を大事にしていると感じています。

故郷の東海地方や首都圏でのイベントへも積極的に行かれていますので、根知地区や糸魚川市を全国にPRしてもらい、いろいろな方から関心をもっていたいだきたいと思っています。

移り住んだ方の声



f&j
Tammy.k さん

平成29年3月神奈川県横浜市から
根知地区へ移住

東京や横浜を拠点にフラワーアレンジメントやジュエリーの制作、展示、販売、教室を開催していましたが、梅津夫妻と同じく東京のイベントで「匠の里プロジェクト」を知り、昨年6月に糸魚川市を訪れたことがきっかけで移住しました。

その際に、根知地区の皆さんや先輩手づくり作家の皆さんから、ここでの生活について親切に教えていただき、糸魚川の人々のあたたかさが移住の決め手になりました。自然が身近で食も豊かなこの土地に魅力を感じる一方、冬場の雪かきなど、生きるためにやらなければならないことも多いと思っています。

厳しさの中でもより人間らしい暮らしを楽しみ、糸魚川の自然の素材を活用して作品の幅を広げていきたいです。



薪のかまどのパン屋です
Ragged oven (レゲッドベン)

岡崎 学 さん 牧子 さん

平成19年宮城県仙台市から
上早川地区へ移住

仙台市内の住居が手狭になったので、子どものために家を持ちたかったことが移住のきっかけですね。美しい四季など、いろいろなことに魅力を感じ糸魚川を選びました。移住先は上早川地区の築100年以上の一軒家で、農作業場をパン工房に改装しました。

自家採取酵母でゆっくりと発酵させ、セルフビルドの薪窯でパンを焼いています。以前と違い、こだわりのパンを作ることができて楽しいです。市内での配達を中心に販売していますが、市外への発送も行っています。東側用水の用水番の仕事も掛け持ちしており、見回り中に展望が開けて素晴らしい景色が見られることも楽しみです。

問合せ先 定住促進課 人口減対策係 ☎552-1511